

地域イノベーション戦略支援プログラムとは

地域イノベーション戦略支援プログラムは、地域イノベーション戦略推進地域（P2参照）に選定された地域のうち、文部科学省による支援が地域イノベーション戦略の実現へ大きく貢献すると認められる地域に対して、知的財産の形成、人材育成等（ソフト・ヒューマン）を重視した支援を実施する事業です。以下のメニューから構成されており、各地域は、これらの事業を組み合わせることで事業を実施することとなります。

① 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

地域イノベーション戦略の中核を担う卓越した研究者を有する地域において、その研究者に次ぐ人材の不足により十分な研究の展開が図れなくなることを防ぐためには、地域イノベーション創出の源泉である研究者の戦略的配置が必要です。そのため、地域イノベーション戦略の実現に貢献し、将来の地域構想を担う次世代の研究者を、国内外問わず原則当該地域以外から招へいすることに対し、支援を行います。

② 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施

地域戦略の実現に向けた取組を持続的なものとするためには、地域において継続的に地域イノベーション戦略の実現に貢献する人材を育成することが必要となります。そのため、地域で活躍し、地域発の新産業創出や地域活性化に貢献する優秀な人材の育成に資するプログラムの開発及び実行に対し、支援を行います。

③ 大学等の知のネットワークの構築

地域イノベーションの創出を実現するためには、大学等の研究機関が保有する数ある優れた研究シーズを共有し、その中から地域の企業が求める技術ニーズと合致するものを発掘して事業化へつなげていく活動が重要です。そのため、この役割を担う地域連携コーディネータの活動に対して必要な支援を行い、その活動により地域の大学等の間で知のネットワークを構築することを目指します。

④ 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化

大学等の研究機関が保有する研究設備・機器の中には、研究インフラが十分に整備されていない地域の中小企業が利用を希望するものが数多く存在し、これらの研究設備・機器を有効に活用することで、地域の研究開発活動の活発化につながることを期待されます。そこで、保有する研究設備・機器を地域の中小企業に開放する大学等に対して、機器の操作や利用者の技術相談を受け付けるスタッフを配置するための支援を行います。

